

# メタロック F-112

メタロック F-112 は、異種ゴム間相互接着、ガラス繊維とゴム接着、プラスチックとゴムの接着、金属とゴムの接着等の多目的用途にご使用いただける加硫接着剤です。

## メタロック F-112 の特徴、用途

メタロック F-112 は塩素系溶剤規制、及び鉛化合物規制に対応した製品です。  
メタロック F-112 は次のような用途に使用できます。

- A. 異種未加硫ゴム間、及び加硫ゴムと未加硫ゴム間の加硫接着
- B. ガラス繊維類と未加硫ゴムとの加硫接着
- C. プラスチック等と未加硫ゴムとの加硫接着
- D. 金属と未加硫ゴムとの加硫接着

## 接着可能なゴム、繊維、プラスチック

- NR、SBR、BR、CR、NBR、CSM、IIR、EPDM、HNBR
- ガラス繊維類、ナイロン樹脂、フェノール樹脂、PVC、等

## メタロック F-112 の性状

外 観	黒色液体	粘 度	150 ~ 800 mPa·s (20°C)
比 重	0.91 ~ 0.97 (20°C)	不揮発分	17 ~ 21 %
主 溶 剤	キシレン	稀釈溶剤	トルエン, キシレン
貯蔵安定期間	6ヶ月	入 り 目	1 kg, 18 kg
引 火 点	25.2 °C		

メタロック F-112 はチキソトロピックな性質を有していますので、見かけ上の粘度が上昇します。  
必ず攪拌してからご使用下さい

## 接 着 方 法

- A. 異種未加硫ゴム間の加硫接着 及び、加硫ゴムと未加硫ゴム間の加硫接着  
被着ゴムの片面又は、両面に F-112 を塗布、乾燥後 貼り合わせ加硫接着する。加硫ゴムの場合、表面をバフ掛け後、溶剤で清浄化しておくこと接着性は向上します。
- B. ガラス繊維類と未加硫ゴムとの加硫接着 (RFL処理ガラス繊維も可)  
ガラス繊維類に F-112 を塗布、乾燥し、未加硫ゴムを加硫接着する。
- C. プラスチックと未加硫ゴムとの加硫接着  
プラスチックの表面を溶剤等で脱脂後 F-112 を塗布、乾燥し、未加硫ゴムを加硫接着。プラスチックとの接着が不十分なときは、下塗接着剤としてメタロック PH-50、N-23 をご使用下さい。
- D. 金属と未加硫ゴムの加硫接着  
F-112 一液では、黄銅類以外の金属との接着性は低いため、金属表面を粗面化処理等で、清浄処理し 下塗接着剤としてメタロック P、PH-50 のいずれかを塗布後、F-112 を塗布、乾燥します。金型等にセットし、未加硫ゴムを圧着加硫接着する。

## 取り扱い上の注意

メタロック F-112 は労働安全衛生法による第2種有機溶剤を含有しています。作業所の換気等には充分注意して下さい。消防法第4類 第2石油類ですので、火気厳禁をお願いします。皮膚に付着したときは、直ちに溶剤等で拭き取り石鹸で洗浄して下さい。

株式会社 東洋化学研究所

〒662-0934 兵庫県西宮市西宮浜 1-5-1  
TEL0798-33-6213 FAX0798-33-6473

2017.02.20 現在